

周辺市街地の振興に向けた取組について

①地区別の人口と年齢構造

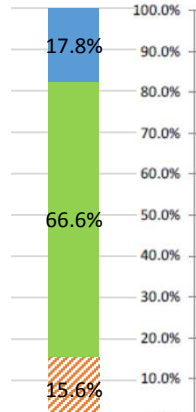
平成29年4月1日時点：市全体で226,781人

筑波地区：18,505人 大穂地区：19,541人
豊里地区：16,596人 桜地区：51,707人
谷田部地区：96,464人 荃崎地区：23,968人

- ・筑波地区や荃崎地区に比較的高齢者が多い。
- ・大穂地区、豊里地区、桜地区、**谷田部地区**は若年者が比較的多い。
- ・地区により異なる人口構成となっている。

(※年少人口：-14歳 生産年齢人口：15-64歳 老年人口：65歳-)
(※地区別年齢構造については研究学園地区及びTX沿線地区を除く)

(市全体年齢構造)



地区別年齢構造

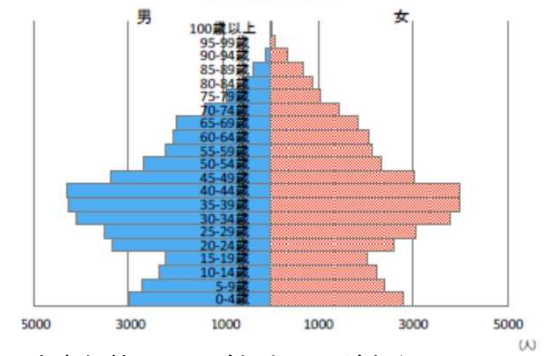
(平成26年10月1日時点)



年少人口 生産年齢人口 老年人口 (資料：つくば市人口ビジョン)

②谷田部地区人口構成

谷田部地区 (平成26年10月1日時点)



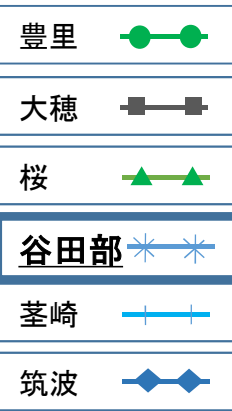
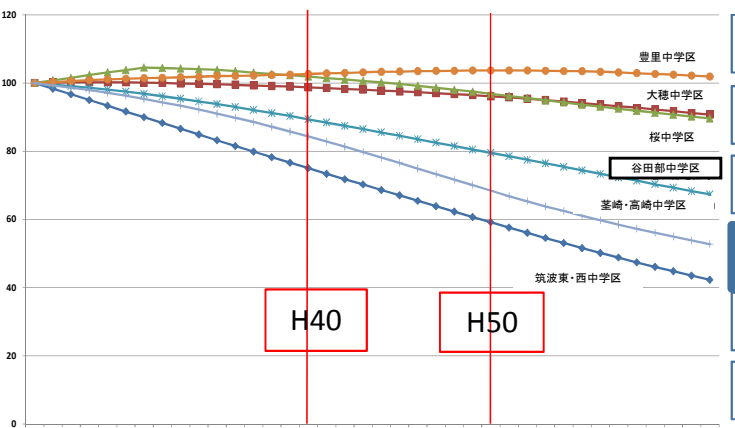
生産年齢人口及び年少人口が多く、特に30-44歳代が顕著であることがわかる。

(資料：つくば市人口ビジョン)

指数：H25=100

③地区別人口の将来予測

(※各中学校区を単位とした将来予測)



(資料：つくば市未来構想)

- ・豊里地区、大穂地区、桜地区は横ばい若しくは微減する見通し
- ・谷田部地区、荃崎地区、筑波地区は将来的に減少する見通し

④地域の課題解決に向けて

○人口減少や高齢化等が進む中、様々な課題が出てきました。

- ・買物難民の出現、交通弱者の増加、商業の衰退など...



○暮らしやすい環境の実現、生活の場を維持するためにはどうしたら良いか。

- ・商店街の活性化、教育環境の充実、定住促進、医療・福祉環境の整備など...
⇒各地域によって取り組むべき課題、実現すべき政策は異なる。

○今後について...

地域の実情を踏まえ、地域の資源を活かしながら、皆様と共に暮らしやすい環境の実現を目指します。

地域の皆様へ

- ・地域の方々が生活しやすい環境を創出するため、まずはしっかりと地域の現状の把握と課題の検証を行いたいと考えております。
- ・その上で検証結果を共有し、地域で何をすべきか、地域に何が必要か、一緒になって検討していきたいと考えております。
- ・検証にあたっては、地区相談課、地区相談センターと連携し、地域の方々からの様々な御意見・御提案などを伺います。
- ・暮らしやすい環境を実現するためには皆様との協働が不可欠であると考えております。何卒ご協力をお願い申し上げます。

